

回 答 書

ご提案等の内容

主題： 福島原発の汚染水について

内容： この度東京電力が福島原発の汚染水を今年の春～夏に福島沖に海洋放出すると発表しました。私は汚染水の海洋放出に強く反対いたします。福島原発の電気は首都圏に供給されてきたので東北三県の人々が事故の負担を押し付けられるいわれはありません。中には、汚染水の海洋放出がされれば柏崎原発の再稼働が進められると言っている識者もいます。東北三県の中で柏崎原発の再稼働を望んでいる人は誰もいないにもかかわらずこうした意見が出てくることに憤慨しています。

東電や経産省、原子力規制庁ら東京の人間が汚染水は安全だと言っているので福島原発の汚染水は東京湾に流すのが筋だと思います。30万トンのタンカー4往復で済みますし、むしろ人口密集地である東京湾に流した方が世界に向けて安全性をアピールできます。加えて東京都は東電の大株主でこれまで法人税・株主配当の形で東電から数兆円もの収入を得ており、そもそも無関係を決め込んでいる方がおかしいです。何より、東京都は先の東京五輪で「復興五輪」を騙り東北の被災者を弄んだ罪があります。東京で五輪を開催することがどうして東北の復興につながるのか分かりませんし、実際五輪によって東北にどれほどの経済効果があったのでしょうか。むしろ、地下ダムの建設など東京五輪の予算額で抜本的な汚染水対策をしていれば海洋放出する事態にならなかつたはずで、逆に東京都が「復興五輪は嘘ではない」と言い張るなら福島原発の汚染水を積極的に受け入れられるはずで（もちろんタンカー輸送費用は東京都持ちで）。

つきましては町長におかれましては福島県はもちろん、宮城県、岩手県の自治体と連携して汚染水を東京湾に海洋放出するよう働きかけ、YOUTUBEなどのSNSでも積極的に発信してほしいです。

ご提案等に対する回答

回答者： 西会津町長

お問い合わせの件に関しまして、次のとおり回答いたします。

町といたしましては、この度の政府が示すALPS処理水の海洋放出策に際し、最も重要なことは、政府が地元の理解を十分に得た結果でもって対応すること、そして新たな風評被害へと繋がらないような取組みを担保することと考えております。ALPS処理水の第一原発沖合への海洋放出策については、様々な意見があることは承

知しております。町では、政府は県民、住民の意見をしっかりと受け止めていただき、丁寧な説明を行うとともに、政府が示す安全性について分かりやすい情報発信に努めるよう意見を述べているところであります。

また福島県も、令和4年7月25日の知事定例記者会見におきまして、県民や国民の理解が極めて重要であること、経済産業大臣に対して、農林水産業や観光業の事業者を始めとした関係の方々に、丁寧な説明を行うとともに、関係者の声をしっかり受け止め、理解が深まるよう取り組むことなどについて県として求めており、今後も政府が前面に立って、「行動計画」に基づきながら、責任を持って取り組んでいただきたいと発言しております。

町の考え、並びに福島県の考えについては共通しており、政府が説明責任を果たすよう、引き続き県及び県町村会、会津総合開発協議会などと足並みをそろえつつ、機会を捉えながら町の考えを伝えていきたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

西会津町役場 総務課 総務係

電話番号 0241-45-2211